

令和4年度 授業改善推進プラン 1年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなを書き、かたかなを読むことができる。 新出漢字（80字）が読める。 年間30冊以上、本を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期は、ひらがなを指導した。濁音、半濁音、拗音、促音、助詞を文の中で正しく使える児童は、半数程度である。2学期以降も言葉集めや言葉遊び、短文づくりの課題を繰り返し行い、正しく表記できるようにする。かたかなの指導では、スクールタクト等の課題を用いて、使用する場面の定着を図る。 漢字ノートを活用し、読み方、筆順、使用法を指導する。定期的に漢字テストを行う。家庭学習にも漢字練習や教科書の音読を取り入れ、定着を図る。 読書の時間を週に1時間程度設けるとともに、読み聞かせを行い、本への興味を高める。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 1けたのたし算・ひき算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> たし算とひき算の違いを理解して立式し、ブロック等を使いながら繰り上がり・繰り下がりのない計算は、9割の児童が答えを求められるようになった。2学期は、繰り上がり・繰り下がりの計算の仕方を考えさせ、反復練習や計算カード等で基本的な計算の力を高める。また、ICTを活用しての問題演習や操作を通して理解を深めていく。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 発見カードに気付いたことや感想を書ける。（2文以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や発見の観点やモデルを示し、カードに図や言葉で記録することができた。今後日常的に自然と触れ合う活動を取り入れ、それぞれの気づきや感想を持てるようにする。自然の写真をICT機器を用いて撮り、互いに見せ合うことで、気づきを共有させ、考えを広げたり深めたりできるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 身近な楽器で、簡単なリズム打ちができる。 	<ul style="list-style-type: none"> リズム遊びや打楽器のリズム打ちを取り入れ、音を楽しみながらリズム感覚が身に付くようにさせる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> のりやはさみを使って、簡単な工作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順を分かりやすく示し、複数の作業（描く、切るなど）を組み合わせて作品ができた。今後、道具の安全かつ効率的な使い方を指導しながら、見通しをもって取り組めるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分のペースで2～3分走り続けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期は、50メートル走やリレー遊びなどで一生懸命走る児童が多かった。個人差が大きいので学習カードやICTを活用して意欲的に運動させる。また、持久走月間などを通して、十分に活動時間を取り、持久力を高めていく。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材を手掛かりに、子供たちの実体験を振り返る機会を設ける。進んで良いことができたことを思い出しながら、良いこと、悪いことを学級全体で考えられるようにする。

令和4年度 授業改善推進プラン 2年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> • 簡単な詩や文の音読ができる。 • 新出漢字（160字）が読める。 • 年間30冊以上、本を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日の音読練習の宿題を通して、大体の児童が文のまとまりで音読できるようになってきている。 • 新出漢字は、9割の児童が読めるようになっている。習った漢字の定着を図り、日常生活でも活用できるように、ICTのコンテンツなどを使った反復練習やテストをしていく。 • 読書好きの児童が多く、たくさん本を読んでいる。引き続き、市立図書館の団体貸し出しを利用するなどして、本の紹介をし、本への関心を高める。また、あらすじや感想を書いたり、交流したりする活動を通して、自分の考えを伝えることができるようにしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> • かけ算九九をすべて言える。 	<ul style="list-style-type: none"> • かけ算音読カードを活用し、家庭でも暗唱練習するよう課題を出し、定着を図る。また、ICTを活用した反復練習や繰り返しテストを行い、習得できていない児童を把握し、個別指導で支援する。また、問題解決型の学習を通して、習ったことを様々な場面で活用できるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> • 植物に関心をもって育て、その生長に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 野菜の育て方を各々が本で調べ、それをもとに世話や観察を行い、興味・関心を高めた。9割の児童が関心をもち、調べたり育てたりすることができた。観察では、観点を示し、違いにも目を向けさせる。一人1台端末で写真を撮り、細かい部分まで観察したり、ほかの児童と交流したりできるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> • 2拍子、3拍子、4拍子を感じて演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • リズム打ちを楽しみながら、拍を感じることができるよう、ボディパーカッションやリズム遊び、リズムづくりなどの表現活動を行う。打楽器を用いたリズム遊びも取り入れる。また、互いに一人1台端末を使用して演奏の動画を撮って見合ったり交流したりすることで意欲を高める。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> • 水彩絵の具を使って、混色、重色ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 絵の具の使い方は、大体の児童が理解している。題材を工夫することで、混色や重色の楽しさを味わわせながら、色や抽象的な発想を広げていくことができるようにする。また、作品を撮影し、見合うことで意欲を高める。
体育	<ul style="list-style-type: none"> • 縄跳びの前とびが10回以上できる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 1年生の時に練習に意欲的に取り組み、いろいろな技に挑戦する児童が多くなった。意欲・関心に個人差が大きいので学習カードやICTを活用して跳び方のコツをつかませ、意欲をもたせる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> • 友達や家族に温かい心で接し、親切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシートなどを通して、自分の生活や経験を振り返ることができるようにする。

令和4年度 授業改善推進プラン 3年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> 複数の文章の音読ができる。 新出漢字（200字）が読める。 年間30冊以上、本を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や音読集を活用し、さまざまな形式の文章等を読む機会を設ける。 新出漢字の読みは80%以上の児童が習得している。新出漢字の学習を行いながらミニテストに取り組み、習熟できるようにする。また、書き順の習得にICT機器を活用する。 1学期の読書カードの記入は平均10冊程度である。図書時間に読書時間を設ける。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 四方位が分かる。 地図記号の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室に東西南北を掲示し、9割以上の児童が四方位を覚えた。 地図を見るときにどこに何があるか分かるように、基本的な地図記号に関する問題をクロムブックを活用して定期的に取り組み、定着を図る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 2回くり下がりのあるひき算ができる。 あまりのあるわり算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り下がりのあるひき算では、9割以上の児童が、正確に行うことができる。正確さを維持しつつ、速さを向上させていきたい。 あまりのあるわり算は、九九の習熟度によって、解く速さの個人差が大きい。宿題や学びポケットの活用などにより演習量を確保し習熟度を高める。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 太陽の動きとはたらきが分かる。 昆虫と昆虫でないものの区別ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に自然現象について触れ、実感を伴って理解できるよう意識させる。また、ICTの画像を活用してまとめの学習などを行う。 虫探しや観察などの体験的活動を通して、昆虫の成長の様子を理解することができた。9割の児童が昆虫と昆虫でないものの区別をすることができた。
総合	<ul style="list-style-type: none"> テーマを決めて調べることができる。 原稿を見ないで30秒の発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Chromebookを活用して、設定されたテーマについて調べ活動を進めることができた。 文字入力のスキルを高め、文書にまとめる活動に取り組む。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ソプラノリコーダーの持ち方、息の使い方が正しくできる。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの学習時間が少ない中、リコーダーに興味をもち積極的に練習していた。持ち手が逆になってしまう児童がクラスに数人いるので、引き続き指導していく。息の量やタンギングについては、練習が必要である。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> カッターナイフを正しく使うことができる。 身近にある作品などから自分の見方感じ方を広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面を十分配慮した上で活動を行う。作品制作を通して、正しいもの使い方を理解し、自身の技能に結び付けていく。 鑑賞を通して、自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする
体育	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟運動や体を支える運動に継続して取り組み、体を強く柔らかくする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のはじめのリズム準備運動を通して、柔軟運動や体を支える運動に継続的に取り組めるような機会を設定する。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国語をつかって様々なあいさつができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業や音読の宿題を通して、あいさつや自己紹介をしたり、気分を訪ねたり答えたりする活動に取り組みさせることができた。 振り返りワークシートを工夫することで、よりめあてを意識した活動ができるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 正しいと判断したことは、自信をもって行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートへの記述を通して、自分の生活や経験を振り返ることができるようにする。

令和4年度 授業改善推進プラン 4年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字の読み書きをする。 PC 端末でのローマ字入力を、文字を書くと同様に行えるようにする。 年間30冊以上、本を読むことができる。 説明文や物語文の音読ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字の読みは9割以上の児童が習得している。週1回程度のミニテストで、漢字の読み書きの習熟を図る。 国語授業だけでなく、日常的にPC 端末を活用する機会を多く設けることで文字入力がスムーズに行えるようにする。 文章の中心となる文を見つける時など、教材文の読解の時には、主語と述語の関係となる言葉を意識させる。 進んで読書が行えるよう「読みかけの一冊」を常に持たせる。 家庭学習で毎日音読をする機会を設ける。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 小金井市と東京都の位置が分かる。 資料の情報を読み取る力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の地図帳の活用によって、小金井市や東京都の位置は9割以上の児童が習得している。また、東京都に隣接している県名も覚えていた。 今後、都道府県の位置と名称について興味をもたせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> わり算の筆算ができる。 角の大きさが測れる。 平行・垂直がかけれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1桁のわり算の筆算、角の大きさとも、ワークによる到達度は8割を超えていた。 図形の学習では、観察や構成などの活動を通して要素に着目し、特徴を捉えさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 温度計の測り方が分かる。 植物の育ち方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の結果から、違いや同じところを比べながら、自然の事物・現象について理解していた。 既習の内容や生活体験を基に、根拠のある予想や仮説を発想させることで、問題解決能力の育成を図る。 PC 端末を活用して定期的に復習に取り組み、理解を一時的なものに留めず、確かな定着に繋げる。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 体験したことから、自分ができることについて考えることができる。 原稿を見ずに1分の発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの興味をもとに課題を設定し、PC 端末を活用して情報を収集・選択し、自分の考えをまとめる活動を行った。 2学期以降、プレゼン資料とともに発表する機会を設ける。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーで、低いドからサミングで（高い音を出す方法）でミ、ファまでができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生の時に十分にリコーダーの指導ができなかったため、簡単な指使いも定着していない児童がいる。一年間を通してリコーダーの学習に取り組み、合奏に生かせるよう指導する。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 制作手順を考えて、段ボールカッター、電動糸鋸を正しく使うことができる。 身近にある作品などから自分の見方感じ方を広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面を十分配慮した上で、制作手順を考え、用具を操作できるようにする。 鑑賞を通して、自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする（2学期にはけの森美術館鑑賞予定）
体育	<ul style="list-style-type: none"> 短縄跳びにおいて5種類以上の幅広い技に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に基づいて、縄跳びの学習時に、PC 端末の動画機能を活用し、視覚的に技のこつを理解させる。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国語をつかって自分のことを伝えることができる。 外国語での会話の機会を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ文型を使って、友達に対して、コミュニケーションをとることができていた。 2学期以降は、自分の好きなものを簡単な会話文で伝えることができるように繰り返し話す場を設定する。また、音読の宿題を活用し、外国語での会話の機会を確保する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 相手のことを思いやり、進んで親切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の行為を支える心の内面をたずねることで、主人公の判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えることができていた。今後も、自分自身の経験の振り返りに充分時間をとり、じっくり考えられるようにする。

令和4年度 授業改善推進プラン 5年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字（193字）が読める。 年間30冊以上、本を読むことができる。 わからない言葉は自分で調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字のまとめテストの到達度は83.4点。モジュールや小テストを活用し平均85点以上をめざす。 課題が終わったら進んで読書が行えるよう「読みかけの一冊」を常に持つ。 辞書、Chromebookを活用し、自分で調べられるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県の位置と名前が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の内容で出てくる地域について、日本の中での位置を地図帳やChromebookを活用しながら覚えていく。 NHK for schoolの動画を活用し、都道府県の特徴などを感じさせるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 小数のわり算の筆算ができる。 公倍数、公約数が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数のわり算の平均点は84.2点。ドリルやICT教材を活用し、学習内容を定着させる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 生物の誕生のしくみが分かる。 顕微鏡の使い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「理科の学び方」の手順に沿って学習を行う。問題解決に向けての過程を大切にし、予想や仮説を立て解決の方法を発想させる。 顕微鏡の使い方や注意事項を事前に指導し、二人一組で協力してできるようにする。 ICT教材を活用し、学習内容を定着させる。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを通して、自分の考えをもつことができる。 原稿を見ないで1分30秒の発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめる学習を行い、引用した部分と自分の考えの部分を分け、文の構成を立てられるようにする。 Chromebookを活用し、撮影した写真を活用したり、インターネットの文献を引用したりできるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 正しい音程で響きのある歌声で歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想に合った歌い方で、副旋律の音程も正確にとることができる。一人一人が思いを持って歌えるよう指導していく。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 用具や材料の良さを生かして表現活動を行うことができる。 身近にある作品などから自分の見方感じ方を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面に十分配慮した上で、作品制作を通して、材料や用具の効果や可能性を確かめ、それを生かして使うことができるようにする。（環境設定の工夫） 親しみのある作品などから自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする。（鑑賞の時間の設定）
家庭	<ul style="list-style-type: none"> なみぬい、玉結び、玉どめができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Chromebookで裁縫の基本動画の確認ができるようにするとともに、繰り返し練習を行っていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分のペースで5～6分走り続けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のペースを把握し、同じ速さで走ることができるよう継続的に指導する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 外国語をつかって簡単な会話をするができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語での会話の機会を設定し、積極的に発表ができるようにする。 デジタル教科書を活用し、映像を用いて英語での表現に慣れ親しむことができるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 誠実に責任のある行動をとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誠実を主題とする授業を行い、日常生活での自身の行動について考えられるようにする。 Chromebookのワークシートを使い、お互いの考えを交流しあう。

令和4年度 授業改善推進プラン 6年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字（191字）が読める。 年間30冊以上、本を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> モジュールの時間を活用し、漢字練習をすることで、小テスト平均90点以上をめざす。 課題が終わったら、進んで読書が行えるよう、「読みかけの一冊」を常に持つ。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 時代の大まかな流れが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題について調べたことをまとめることで、主体的に学習に取り組む態度を養い、時代の流れを把握していく。 ICT機器を活用し、NHK for schoolの動画を視聴しながら、学習内容の理解を深められるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 分数計算ができる。（約分・通分） 四則混合計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違いを振り返る時間を設け理解を深めさせる。 ICT機器を活用し、ドリル教材で個別最適な学習を展開する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 月の満ち欠けが分かる。 酸とアルカリの区別ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕組みや性質など結果から分かったことを書く時間を多く取り、思考力を高めることでテスト平均90点以上をめざす。 ICT機器を活用し、NHK for schoolの動画を視聴しながら、学習内容の理解を深められるようにする。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 原稿を見ないで2分の発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> たてわり班では、下級生に親しみをこめて分かりやすく話そうと努めている。 調べたことをまとめる学習では、ICT機器を有効に活用しながら発表する機会を設ける。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり演奏したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 合奏が好きな児童が多い。聴き合う活動を多く取り入れ、パートの役割を考えながら演奏できるよう指導していく。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 用具や材料の良さを生かして表現活動を行うことができる。 身近にある作品などから自分の見方感じ方を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面に十分配慮した上で、作品制作を通して、材料や用具の効果や可能性を確かめ、それを生かして使うことができるようにする。（環境設定の工夫） 親しみのある作品などから自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする。（鑑賞の時間の設定）
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ミシンを使って直線縫いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の復習の時間を確保し、手順を確認しながら、直線縫いができるようにする。 ICT機器を活用し、縫い方を動画で確認できるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 縄跳びの二重跳びが5回以上できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、リズム準備運動の動画で縄跳びを練習する時間を定期的に確保する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 外国語をつかって進んでコミュニケーションをとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した文型を活用し、コミュニケーションをとることができている。1単元1回以上、活動の場をつくり、自信をもってコミュニケーションができるようにしていく。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 親切・思いやり、感謝、相互理解・寛容などの項目に関する題材を各学期に1回以上行うとともに、指導内容を日々の生活と関連付けるよう留意する。